

研究だより

入新井第五小学校

研究推進委員会

R6年12月25日(水)

第 7 号

学校・学級に適応プロジェクト

3年 学級活動 「2学期がんばったね会をしよう」

◎授業について

第7回となる校内研究は、学級活動(1)「2学期がんばったね会をしよう」です。本研究授業は、東京教師道場の研究授業を兼ねて行い、班のテーマである「みんなの思いを大切にし、共に成長する学級活動」を意識して、様々な手立てをうちました。学級では、事前に一人一人が考えをもって話し合いに臨むことができるように学級会ノートに自分の考えや理由を書きました。また、提案理由にある「ほめ合う」というキーワードについて共通理解をしました。



授業では、話し合いの前に担任が「一人一人の意見を大事にする」、「よさで比べ合う」という2つのめあてを伝えました。こどもた

ちはそのことを意識しながら、司会グループだけではなく、全員で助け合いながら決めることができました。

話し合うこと①では、2学期の思い出を振り返る方法について話し合いました。5種類の方法が挙がっていましたが、賛成意見を中心に、提案者にも寄り添った話し合いを進めることができました。

話し合うこと②では、褒め合える工夫について話し合いました。どれもよい案のため全ての工夫を取り入れてもよいのではという意見が挙がると、集会までの日程を鑑みて、準備が間に合うかどうかを心配する意見が出ました。すると、その両方の意見を大事にして、時間がかかるところを担当する人数を増やすという解決方法に決めることができました。

終末の担任からの話では、めあての達成やよい行動ができていたこどもたちの紹介をするだけでなく、次回への課題を提示することで、さらなる成長へつなげることができました。

☆指導・講評

○昨年度からの学級会の経験がこどもたちに積み重なっており、話し合いの素地が養われていた。

○一人一人の意見を大切にすることにより、こどもたちが安心して自分の意見を言うことができる雰囲気が作られていた。

○話し合いの中で論点がずれた考えが出たときも、こどもたちの力で論点を戻すことができていたところがよかった。

▲工夫はどれも賛成意見が集まりやすいため、集会までの準備期間や、自分たちの力でできることの範囲を考えて話し合うことが大切である。

